

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 平成 29 年度 活動実績報告書

1. 拠点の活動内容

下記提案機関により浜松地域の特徴を活かし、異分野、他分野の融合によるハイレベルなアウトカムをめざし、「医工連携・産学連携・地域連携」を進めている。

【提案機関】

【産】浜松商工会議所（医工連携研究会）、（公財）浜松地域イノベーション推進機構

【学】浜松医科大学、光産業創成大学院大学、静岡大学

【官】静岡県、浜松市

1-1. 装置・機器の活用

平成 29 年度には、JST から無償譲渡を受けたサイクロトロン、GMP ホットセル等の装置・機器を、浜松医科大学および浜松工業技術支援センターにおいて引き続き有効活用した。

PET/CT 装置、サイクロトロン、GMP ホットセル等を

用いて、臨床研究対象となる 1,545 件の PET 撮影を実施した。なお、撮影した画像データを他の医用画像診断と関連づけて評価することにより、ガンの早期診断および治療経過評価のデータベースとし臨床研究を行うため、光産業創成大学院大学、浜松市内企業（㈱システムエッジ、テガラ㈱）、浜松医科大学附属病院による共同研究において「エキスパートシステム(医学用データベース)」を構築している。

新規 PET 装置（浜松ホトニクス㈱との共同研究により開発、スーパー特区課題、産学官連携推進部・サイクロトロン棟に設置）の有用性および操作性の検証は、サイクロトロン、GMP ホットセル等を活用し、浜松医科大学倫理委員会の承認を得て、ヒトでのデータ取得を引き続き行っている。

手術台、无影灯等は、手術ナビゲーション装置、手術用立体内視鏡、内視鏡手術用超音波診断装置（以上、スーパー特区課題）の開発に必要なデータ取得や条件設定を行う目的で、地域企業との共同研究において活用を継続している。なお、手術用立体内視鏡開発は、文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（平成 29 年度研究開発経費 24,000,000 円）により、内視鏡手術用超音波診断装置は、AMED 医療機器開発推進研究事業（平成 29 年度研究開発経費 28,999,932 円）により行った。

特に、文部科学省・地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（H28～H32、事業費総額 1.4 億円/年）では、静岡大学、浜松市を事務局として「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトニクスの新技術」をテーマとして申請、全国 4 拠点の 1 つとして採択された。医工連携に関する地域のエコシステムを確立するために、このシステムを運営するとともに、AMED 国産医療機器創出促進基盤整備等事業も活用することで人材育成や機器開発をより推進している。また、文部科学省地域科学技術実

平成29年度 研究機器使用実績					
静岡県「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」					
機器番号	機器名称	回数(回)			設置場所
		累計	(有料)	(無料)	
1	PET/CT装置	1545	1545	0	浜松医科大学
2	ピコ秒レーザー加工システム	9	9	0	浜松工業技術支援センター
3	ファイバーレーザー加工システム	68	10	58	浜松工業技術支援センター
4	半導体レーザーシステム	2	0	2	浜松工業技術支援センター
5	試料観察用顕微鏡システム	171	39	132	浜松工業技術支援センター

証拠点整備事業（H28～H29、施設費 7.5 億円、設備費 1 億円）に、浜松医科大学が中心となり申請した「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」整備事業が全国 22 件の 1 つとして採択され、学内に新拠点棟を設置することになった。これにより、産学連携、医工連携による機器開発が益々盛んになることが期待できる。

一方、レーザー関連装置（レーザー加工装置、顕微鏡）は、成長が期待できる医療・健康分野へ新たに進出を目指す輸送用機器製造業を中心とする地域の中小企業に活用されている。

より一層の活用を促進するため、浜松工業技術支援センターが技術相談・指導等を行うとともに、光産業創成大学院大学の活動の中で企業との医療・健康分野への応用のための試験や事業化の検討を行った。装置活用促進においては、例年に引き続いて 3 つの大きな活動を行った。光産業創成大学院大学の主催により、レーザーを扱える企業を増やすための「レーザー加工技術基礎セミナー（光を利用したものづくりに関するセミナー）」を 2 回開催した（テーマ 1：産業応用に適した新光源、93 名、テーマ 2：レーザー加工と品質工学、110 名）。さらに、医療分野等で光技術を活用できる人材を育成するため、光産業創成大学院大学と浜松工業技術支援センターが実施機関として「レーザーによるものづくり中核人材育成講座」を開催し、企業内の技術者養成を行った。現在、これに関連した参加者企業等（7 社）とレーザーを用いた医療用部品製作技術の開発や、製作の検討を進めている。

研究開発では、光産業創成大学院大学は、静岡県内企業や大学と共同で、金属・セラミックのレーザーによる AM 技術（アデティブ・マニファクチャリング～3 次元造形技術）開発（1 社）、非熱的な生体のレーザー切断加工装置開発（1 社）、医療器具製造向けレーザー樹脂溶着・レーザー治療に向けた加熱端子開発（3 社）を進めている。特に加熱端子開発については、大学医学部の研究への提供をするなど事業化活動を行っている。浜松工業技術支援センターは、従来の方法（侵染法）では染色が難しかったプラスチック素材（視力矯正用眼鏡レンズ）をレーザーで染色することを可能にし、レーザーで染色する装置を開発するとともにさらなる技術開発を進めている。また、浜松工業技術支援センターと光産創大が地元企業に協力して透明プラスチックが使用されることが多い医療器具などの加工へ応用できる「透明プラスチックのレーザーによるクリーンな溶着」をする技術開発を行い、その製品（樹脂溶着用レーザー（ラバーテックス SV-120F））の販売を開始しさらなる技術開発を進めている。

1-2. 施設の活用

産学官連携推進部・サイクロトロン棟内に設置したレンタルラボ 2 室は、浜松ホトニクス(株)と(株)ゾディアックの地域企業 2 社がレンタルし活用している。浜松ホトニクス(株)は、浜松医科大学との共同開発成果である「新規 PET 装置」を、さらに改良開発しデータ取得を行うために活用し、(株)ゾディアックは文部科学省地域イノベーション・エコシステム形成プログラムにおける立体内視鏡開発、また AMED 医療機器開発推進研究事業における低侵襲内視鏡および顕微鏡手術支援 3D 超音波診断装置の開発を推進するために活用している。

産学官連携推進部・PET-CT 棟 2F 会議室では、月 1 回開催される拠点運営会議ワーキングの会議、月 1 回開催される拠点事務局会議を開催し活用した他、産学官連携の打ち合わせ、施設訪問団体への説明などに活発に活用している。

1-3. 対外的活動

1-3-1. セミナー・講習会等の開催

当報告書の「7. 普及活動」に記したように、地域企業を対象とした健康医療産業への参入セミナー（医療機器開発・研究倫理・臨床研究に関する研修セミナー計8回）、現場医師との情報交換会（2回）、医療現場での意見交換（合計7回）等を実施し、浜松商工会議所医工連携研究会（100社）と強ちに連携しながら、本拠点の有する設備の紹介や医療現場でのニーズの発掘を行った。また、年1回の拠点の中心的イベントである「メディカルイノベーションフォーラム2017」を平成29年12月1日に浜松市で開催し（企業23社、計103名参加）、第一部 基調講演「サイバニクスによる医療イノベーション推進と社会実装」（演者：山海 嘉之 内閣府 ImPACT 革新的研究開発推進プログラム プログラム・マネージャー、筑波大学大学院 システム情報系・サイバニクス研究センター教授・研究統括、CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO）、およびパネルディスカッション「ベンチャービジネスによる医療イノベーション」（モデレータ：浜松医科大学、はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 山本清二）を行った。

1-3-2. 事業実施

○信州・浜松拠点間交流会議2017

毎年交互に訪問しあって開催している拠点間交流会議を、ホテルクラウンパレス浜松（7月27日）とスズキ歴史館訪問（7月28日）で開催した（64人、6社参加）。

全体会議では、信州医工連携拠点における取組状況（杉原伸宏・信州大学）、「はままつ医工連携拠点の活動と実績」（松浦脩博・はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点）、「歩行アシストロボット curara®の開発とその事業化」（角田哲啓・信州大学）、「医療機器製造販売の実績」（美和高光・株式会社システム・ジェーピー）の報告があり、引き続いて、グループ（8名/グループ）討論と発表が行われた。

グループディスカッションのテーマは以下で、それぞれ産学官の立場から活発な意見交換が行われ、グループ別の発表が行われた。

テーマ1：医工連携をどのようにして地方創生につなげるか？

- ①課題1-1 学（大学）、官（国、自治体、支援機関）の立場から
- ②課題1-2 産（企業）の立場から

テーマ2：ベンチャー支援をどうするか？

- ①課題2-1 ベンチャー企業をどのように発掘するか？
- ②課題2-2 ベンチャー企業をどのように育成するか？

○医工連携スタートアップ支援事業

【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成29年度新成長産業戦略的育成事業】

浜松医科大学が中心となり「はままつ医工連携拠点」が（公財）静岡県産業振興財団・新成長産業戦略的育成事業に応募して資金を獲得し、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、「アイデアの実現性の検証」を行う支援事業を平成24年度から毎年行っている。平成29年度は、50万円/件を5件採択した。

平成29年度採択課題

- ① S社：頭頸部放射線治療用マウスピースの開発
- ② H社：手術用鋼製器具（鋭匙類）の機械工業生産方式への転換検討
- ③ M社：シャント音採取装置の開発

④ A社：骨粗鬆症の3次元骨データを人工関節置換手術検討用CADデータへの修正及び補正プログラムの検証実験

⑤ R社：手指の拘縮改善と心拍計測兼用の反発グリップの実現性検証

この事業では、これまで計37件の開発案件を支援し、その後のフォローアップを行うことにより、開発が継続され、約30%が他の公的資金を獲得している。また、製品化4件を達成している。この事業は、企業の持つシーズ発掘にもつながっている。平成29年度の採択課題も、今後より大きな公的資金獲得に向けて、更に支援を継続する予定である。

○医工連携出合いのサロン

【公益財団法人静岡県産業振興財団 平成29年度新成長産業戦略的育成事業】

浜松医科大学が中心となり「はままつ医工連携拠点」が（公財）静岡県産業振興財団・新成長産業戦略的育成事業に応募して資金を獲得し、平成25年から毎年実施している事業である。非医療機器メーカーが、医療系学会に展示することは困難であるため、展示ブースを「はままつ医工連携拠点」が買い取ることにより、取りまとめて企業展示を行ってきた。また、医療機器関連の展示イベントを開催しても実際に利用する現場の医師は多忙であり、イベント会場を訪れることはほとんどない。そこで、全国の医師が集まる医学系の学会に附設する形で、静岡県内で開発された商品を紹介する展示会を開催し、商品PRをするとともに、現場医師から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会を提供すると共に、ブースツアー（他の医療機器メーカーの展示ブースを訪問し、紹介するツアー）や橋渡し（面談）の場を提供してきた。平成28年度は「第29回日本内視鏡外科学会総会（平成28年12月8日～10日）」および「第94回日本生理学会大会（平成29年3月28日～30日）」に出展した。

平成29年度は「第28回日本間脳下垂体腫瘍学会（平成30年2月9日～10日、アクトシティ浜松コンgresセンター）」に5社が出展した。脳神経外科、耳鼻咽喉科、内科、小児科の医療関係者（医師・看護師等）及び企業が参加した学会に併設された企業展示会において、出展料を含めた出展支援を行い、出展企業を他の出展していた医療機器メーカーに個別に紹介した。同時に、拠点の周知活動を推進するために、はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点の活動展示を行った。静岡県内で開発された商品を紹介し、商品PRをするとともに、現場の医師や研究者から商品に対する評価や意見などを直接聴取する機会となった。

○MEDTEC Japan 2017 出展

平成29年4月19・20・21日に開催された医療機器の設計・製造に関するアジア最大の展示会MEDTEC Japan 2017（東京ビッグサイト）において、（公財）静岡県産業振興財団が取りまとめた静岡県ブースに、はままつ医工連携拠点及び浜松医科大学、浜松医工連携研究会の周知目的のブースの他、静岡県西部より4社が出展した。来場者は3日間合計32,561名（主催者発表）であった。

訪問者の主な団体（団体代表者）は、鳥取県、長野県、信州大学、横浜市、公益財団法人医療機器センター、経済産業省等であり、いずれも浜松地域の取組において「どのようにして産学官の複数の団体がうまく連携して事業を展開できているのか」という点についての質問が多かった。はままつ医工連携拠点は閉じた団体ではなく、むしろ開かれたクラウドのような組織で、それぞれのプレーヤーが自分の組織に所属したまま医工連携拠点の活動をし、その成果を所属する団体と医工連携拠点が共有（どちらも成果として公表）することが良いのではないかと考えている旨を説明すると、そのような取組が我が国にはあまりなく、珍しいとの意見を頂くことが多かった。今後も引き続きこの利点を活かして、医工連携拠点事業を推進して行くのが良いと思われた。

○その他のイベント出展等

ビジネスマッチングはままつ 2017（浜松、7月）、イノベーション・ジャパン 2017～大学見本市&ビジネスマッチング～（東京、8月）、第12回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア 2017（名古屋、10月）、メディカルクリエーションふくしま 2017（福島、10月）、おおた研究・開発フェア（東京、10月）、第4回メディカルメッセ（名古屋、12月）にブースを出展し、はままつ医工連携拠点が行っている取組みを紹介し、参加企業や人材との意見交換、情報交換を図り、国内の医工連携関係機関等から医療機器に関する開発要求事項を収集した。

○大型イメージング装置のデモンストレーション

PET、MRI、CT など、研究用大型イメージング装置を、地域（学外）の大学、研究所、企業に活用してもらうために、拠点で準備した対象物や持ち込みサンプルを撮像し、デモンストレーションやトライアルユースを行った（3回実施した）。また、企業の技術相談に対応し、研究開発に必要な3次元データ取得に関して検討し助言した。

○企業訪問

信州大学と例年開催している「信州・浜松拠点間交流会議」において、本年度はスズキ歴史館（浜松市）を訪問し、スズキ自動車の開発の歴史とものづくり都市浜松の歴史に関して説明を受けた。また浜松市から、浜松市における産業振興の歴史についての紹介があり、活発な意見交換が行われた。

○AMED_NTT データ特許調査による医療機器開発への参画

特許調査から医療現場のニーズ把握にアプローチする AMED 事業に、山本清二理事（教育・産学連携担当）・副学長が参画した。過去において本学を中心とした「医療現場の情報交換会」等（2013年から合計7回分）で提案された医療現場の課題からニーズを洗い出し、一部は課題および課題解決法を提案した。

1. 既知の医療ニーズ（成功事例の開発の発端となった医療ニーズ）
2. 新規医療ニーズ（まだ開発や実用化に至っていない医療ニーズ）
3. 看護部からの新規医療ニーズ（まだ開発や実用化に至っていない医療ニーズ）

○共同大学院光医工学共同専攻の新設

文部科学省により、1学年の入学定員：浜松医科大学3名／静岡大学5名、学位：博士（光医工学）の後期博士課程の共同大学院の設置が認可され、平成30年4月開講に向けて、大学院生の募集と入学試験を行い、定員8名が入学予定である。社会人大学院生が多く、人材育成に関する機能強化を企業と連携して進めることになる。

○海外調査 ①「日中大学フェア&フォーラム in China 2017」

国立研究開発法人・科学技術振興機構（JST）「日中大学フォーラム」に参加・発表

上海会場日程：5月13日（土）、14日（日）

会場：上海マート（上海世貿商城、上海市長寧区興義路99号）

5月13日（土）

- 「日中大学学長個別会談」

目的：日中大学・高等専門学校トップ同士の面談および意見交換の場を提供

時間：15:30-17:30

参加者：日中大学・高等専門学校学長（もしくは学長レベル相当者）

●「日中交流会」

目的：日中関係者の面識・面談および交流のプラットフォームを提供

時間：18:00-20:00

参加者：日中政府、大学・高等専門学校、研究機関、企業、メディア関係者など、

5月14日（日）

●「日中大学フォーラム」

目的：大学経営、国際化、人材育成など日中共同の課題について発表・議論

使用言語：日本語、中国語（日中同時通訳）

このフォーラムでは「大学における地域貢献のあり方」がシンポジウム形式で議論され、山本は登壇し、浜松医科大学の取り組みおよびはままつ医工連携拠点のしくみと成果について発表し意見交換を行った。

発表者：宋 永臣 大連理工大学副学長（モデレーター）、伍 江 同濟大学常務副学長、韓 傑才 ハルビン工業大学副学長、曲江尚瑪 青海大学副学長、眞弓 光文 福井大学学長、三村 信男 茨城大学学長、山本 清二 浜松医科大学理事・副学長、若山 正人 九州大学理事・副学長

2. 活動実績のまとめ

	座学	臨床現場見学	合計
講習会・研修会等数	14	8	22

	企業数	参加者数
講習会・研修会等参加者数	313	920

	参加者数
臨床現場見学者数	55

	医療機関との連携数	企業との連携数	企業との連携による製品化数
他機関との連携	3	2	1

	相談回数	相談時間	収集ニーズ数
医療機関に関する相談数	52	78	52

	氏名	所属	種別（医師、看護師、ME、企業OB等）
講習について（講師）	夏目 貴弘	浜松医科大学	技師
	蓑島 伸生	浜松医科大学	教授
	山本 清二	浜松医科大学	医師

	萩原 敏彦	医療機器安全研究所	企業
	山口 哲志	(株)アイピーエス	企業
	山越 淳	名古屋国際特許業務法人	弁理士/行政書士
	中島 芳樹	浜松医科大学	教授
	緒方 勤	浜松医科大学	教授
	山田 康秀	浜松医科大学	教授
	荻生 久夫	OGY メディカルデバイスソリューションズ(株)	企業
	梅田 智広	奈良県立医科大学	教授
	坂田 勝亮	ユニオンツール(株)	企業
	山海 嘉之	筑波大学大学院/サイバーダイナミクス(株)	教授、企業経営者
	須永 訓子	浜松医科大学	看護師
	永房 鉄之	浜松医科大学	助教
	江間 信吾	浜松医科大学	臨床工学士
	堀内 千浪	日本貿易振興機構	企業
	新村 仁	浜松市	公務員
	青嶋 亮治	(株)オノックスエムティティ	企業経営者
	沢根 孝佳	沢根スプリング(株)	企業経営者
	堀内 康博	(株)ジーアクト	企業

3. 運営委員会等 会議開催状況

会議名称	開催日時	参加者	概要
事業運営委員会			
第1回事業運営委員会	平成29年5月19日 13時半～15時半	26名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度事業報告、収支決算書 平成28年度会計監査報告 平成29年度新成長産業戦略的育成事業他
第2回事業運営委員会	平成30年3月23日 13時半～15時半	22名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業計画案について 平成30年度予算案について
ワーキング会議			
第54回ワーキング会議	平成29年4月25日 10時～12時	20名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度拠点事業の各機関の担当者について 平成28年度活動実績報告書、決算書 他
第55回ワーキング会議	平成29年6月13日 10時～12時	18名	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度監査報告について 信州との拠点間交流について 他
第56回ワーキング会議	平成29年9月5日 10時～12時	18名	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援事業審査会について 平成29年度出合いのサロンについて 他
第57回ワーキング会議	平成29年11月7日 10時～12時	18名	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援事業フォローについて セミナーアンケート結果 他
第58回ワーキング会議	平成30年1月16日 10時～12時	20名	<ul style="list-style-type: none"> メディカルイノベーションフォーラムについて セミナーアンケート結果 他
第59回ワーキング会議	平成30年3月20日 10時～12時	17名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業計画案、予算案について 平成30年度スケジュールについて 他

*拠点内事務局ミーティングは1～2回/月にて随時開催した。

4. 外部資金獲得状況

共同研究 58件

研究者所属機関	役職	研究者名	共同研究先	研究期間
光産業創成大学院大学 光産業創成研究科	准教授	沖原伸一郎	企業（富士市）	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
光産業創成大学院大学 光産業創成研究科	准教授	沖原伸一郎	企業（県外）	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日
浜松医科大学 薬理学	教授	梅村和夫	企業（浜松市）	平成22年7月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 臨床看護学	助教	田坂満恵	企業（浜松市）	平成23年7月4日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 薬理学	教授	梅村和夫	企業（浜松市）	平成23年9月20日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 放射線診断学・核医学	教授	阪原晴海	企業（浜松市）	平成24年4月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生体機能イメージング	特任助教	小俣圭	企業（浜松市）他	平成25年4月30日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生体機能イメージング	教授	尾内康臣	企業（浜松市）	平成25年6月3日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 形成外科	助教	藤原雅雄	企業（県外）	平成26年3月24日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 材料部	教授	椎谷紀彦	企業（浜松市）	平成26年10月7日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	特任教授	岡崎茂俊	企業（浜松市）	平成27年6月24日 ～平成29年5月31日
浜松医科大学 光イメージング研究室	准教授	矢尾育子	企業（焼津市）	平成27年6月24日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生物学	教授	針山孝彦	企業（県外）	平成28年2月2日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 地域看護学	教授	巽あさみ	企業（浜松市）	平成28年3月24日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	間賀田泰寛	企業（浜松市）	平成28年7月19日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 リハビリテーション部	准教授	美津島隆	企業（浜松市）	平成28年7月19日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 放射線診断学・核医学	助教	牛尾貴輔	企業（県外）	平成28年7月29日 ～平成29年7月31日
浜松医科大学 医生理学	教授	浦野哲盟	企業（浜松市）	平成28年9月30日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 形成外科	助教	藤原雅雄	企業（県外）	平成28年9月30日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 心理学	教授	田中悟志	企業（県外）他	平成29年2月7日 ～平成30年10月31日
浜松医科大学 リハビリテーション部	准教授	美津島隆	企業（静岡市）	平成29年5月10日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光イメージング研究室	准教授	矢尾育子	企業（県外）	平成29年5月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 分子病態イメージング研究室	教授	間賀田泰寛	企業（浜松市）	平成29年5月1日 ～平成30年1月31日

浜松医科大学 細胞分子解剖学	教授	瀬藤光利	企業（県外）	平成29年7月3日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 第一内科	講師	安田日出夫	企業（浜松市）	平成29年8月4日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 産婦人科学	理事	金山尚裕	企業（浜松市）他	平成29年8月4日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 整形外科	助教	吉田剛	企業（浜松市）	平成29年8月4日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 イノベーション光医学研究室	理事	山本清二	企業（浜松市）	平成29年8月4日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生物学	教授	針山孝彦	企業（県外）	平成29年10月5日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 整形外科	准教授	星野裕信	企業（浜松市）	平成29年10月5日 ～平成30年1月31日
浜松医科大学 薬理学	教授	梅村和夫	企業（浜松市）	平成29年10月5日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 放射線腫瘍学	教授	中村和正	企業（浜松市）	平成29年11月6日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 産婦人科学	理事	金山尚裕	企業（浜松市）	平成29年11月28日 ～平成30年2月9日
浜松医科大学 放射線腫瘍学	教授	中村和正	企業（県外）	平成30年2月13日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 総合人間科学	教授	針山孝彦	企業（県外）	平成30年3月6日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生物学	教授	針山孝彦	企業（浜松市）	平成22年1月25日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 産婦人科	准教授	杉原一廣	企業（浜松市）	平成22年6月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	蓑島伸生	企業（浜松市）	平成26年4月15日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 外科学第二	教授	竹内裕也	企業（浜松市）	平成26年5月15日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	尾内康臣	企業（浜松市）	平成27年10月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 放射線診断学・核医学	教授	阪原晴海	企業（浜松市）	平成27年8月7日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	尾内康臣	企業（浜松市）	平成27年11月6日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	岡崎茂俊	企業（浜松市）	平成27年8月7日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 放射線診断学・核医学	教授	阪原晴海	企業（浜松市）他	平成28年2月15日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	間賀田泰寛	企業（浜松市）	平成28年5月31日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 精神医学講座	教授	山末英典	企業（浜松市）他	平成28年7月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 整形外科	助教	大村威夫	企業（浜松市）	平成28年7月27日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 薬理学	教授	梅村和夫	企業（浜松市）	平成29年4月3日 ～平成30年3月31日

浜松医科大学 生体機能イメージング研究室	教授	尾内康臣	企業（浜松市）	平成29年6月19日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 皮膚科学講座	准教授	平川聡史	企業（浜松市）	平成29年11月28日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 感染症学	教授	鈴木哲朗	国立大学法人 （県外）	平成25年8月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 解剖学細胞生物分野	教授	瀬藤光利	企業（県外）	平成28年3月24日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	星祥子	国立大学法人 （県外）	平成27年6月4日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生体医用光学研究室	教授	星祥子	学校法人（県外）	平成27年7月16日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生体医用光学研究室	教授	星祥子	公益財団法人（県外）	平成27年4月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学	理事	山本清二	企業（浜松市）他	平成28年12月1日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 光先端医学教育研究センター	教授	尾内康臣	企業（浜松市）他	平成29年5月9日 ～平成30年3月31日
浜松医科大学 生体医用光学研究室	教授	星祥子	国家計量研究所（ドイツ）	平成29年12月22日 ～平成30年3月31日

受託研究 11件

事業名 （委託機関 等）	課題名・ プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	研究期間
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム （文部科学省）	「光の先端都市『浜松』が創成するメディカルフォトリクスの新技術」	浜松医科大学 静岡大学 浜松市 企業（県外） 企業（浜松市）	理事	山本清二	平成28年11月1日 ～平成30年3月31日
医療機器開発推進研究事業 （AMED）	内視鏡および顕微鏡による低侵襲手術を支援する3D超音波診断装置の実用化開発と臨床研究	浜松医科大学 企業（浜松市） 企業（県外）	理事	山本清二	平成28年4月1日 ～平成30年3月31日
橋渡し研究加速ネットワークプログラム （AMED）	レーザ血栓溶解治療システムの開発	浜松医科大学 企業（浜松市）	教授	梅村和夫	平成28年3月30日 ～平成30年3月31日
国産医療機器創出基盤整備等事業 （AMED）	メディカルフォトリクスを基盤とする国産医療機器創出促進基盤整備等事業	浜松医科大学	理事	山本清二	平成26年7月3日 ～平成30年3月31日

未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 ICT を活用した診療支援技術研究開発プロジェクト (AMED)	注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	浜松医科大学 大阪大学 福井大学 弘前大学 千葉大学 佐賀大学 鳥取大学 金沢大学 企業 (県外)	特任 准教授	土屋賢治	平成 28 年 4 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日
企業 (県外)	早期パーキンソン病患者に対するトレリーフの神経保護作用に関する検討 －PET 機能画像を用いた評価－	浜松医科大学	教授	尾内康臣	平成 27 年 6 月 24 日 ～平成 30 年 3 月 31 日
国立研究開発法人 (県外)	FDG-PET によるアルツハイマー病の診断に関する多施設共同研究-SDAF-PET-	浜松医科大学	教授	尾内康臣	平成 27 年 10 月 26 日 ～平成 29 年 7 月 31 日
革新的先端研究開発支援事業 (AMED)	光による脂質の同定制御観察技術すなわちオプトリピドミクスの創生	浜松医科大学	教授	瀬藤光利	平成 29 年 4 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日
認知症研究開発事業 (AMED)	タウを標的とする新規画像診断法と治療法の研究開発 コンソーシアム構築	浜松医科大学	教授	尾内康臣	平成 29 年 4 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日
先端計測分析技術・機器開発プログラム (AMED)	三次元像フローサイトメーター基盤技術の開発	浜松医科大学	特任 教授	岡崎茂俊	平成 29 年 4 月 1 日 ～平成 30 年 3 月 31 日
未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業 (AMED)	スマート治療室における患者情報統合モニター上にデータ表示可能な、外科医の指先や鏡視下手術鉗子ならびにロボットアーム先端に装着可能な小型組織オキシメーター温度センサーの開発	浜松医科大学	特任 研究員	海野直樹	平成 29 年 8 月 16 日 ～平成 30 年 3 月 31 日

5. 研究成果

論文発表 46 件

論文名	掲載誌名等	掲載頁・掲載年等	研究者所属関	役職	研究者名
いま核医学領域で薬剤師が求められている	月刊薬事	59(5), 953-957 (2017)	浜松医科大学	教授	間賀田泰寛
Visualization of local phosphatidylcholine synthesis within hippocampal neurons using a compartmentalized culture system and imaging mass spectrometry	Biochem Biophys Res Commun	495(1), 1048-1054 (2018)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
SCRAPPER Selectively Contributes to Spontaneous Release and Presynaptic Long-Term Potentiation in the Anterior Cingulate Cortex	J Neuriscu	37(14), 3887-3895 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Visual Outcomes in Japanese Patients with Retinitis Pigmentosa and Usher Syndrome Caused by USH2A Mutations	Semin Ophthalmol	1-6 (2017)	浜松医科大学	教授	蓑島伸生 他
Profiling and Imaging of Phospholipids in Brains of Abcd1-Deficient Mice	Lipids	53(1), 85-102 (2018)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Impaired airway mucociliary function reduces antigen-specific IgA immune response to immunization with a claudin-4-targeting nasal vaccine in mice	Sci Rep	8(1), 2904 (2018)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Stearate-to-palmitate ratio modulates endoplasmic reticulum stress and cell apoptosis in non-B non-C hepatoma cells	Cancer Sci	10 (2018)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Corrigendum: Hepatic S6K1 Partially Regulates Lifespan of Mice with Mitochondrial Complex I Deficiency	Front Genet	8, 221 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他

Glycosphingolipid metabolic reprogramming drives neural differentiation	EMBO J	e97674 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Imaging mass spectroscopy delineates the thinned and thickened walls of intracranial aneurysms	Biochem Biophys Res Commun	495(1), 332-338 (2018)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Hepatic S6K1 Partially Regulates Lifespan of Mice with Mitochondrial Complex I Deficiency	Front Genet	8, 113 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Recurrent triple-negative breast cancer (TNBC) tissues contain a higher amount of phosphatidylcholine (32:1) than non-recurrent TNBC tissues	PLoS One	12(8), e0183724 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Lysophosphatidylcholine Acyltransferase-3 Expression Is Associated with Atherosclerosis Progression	J Vasc Res	54(4), 200-208 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Immunohistochemical expression analysis of leucine-rich PPR-motif-containing protein (LRPPRC), a candidate colorectal cancer biomarker identified by shotgun proteomics using iTRAQ	Clin Chim Acta	471, 276-282 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Arachidonic acid containing phosphatidylcholine increases due to microglial activation in ipsilateral spinal dorsal horn following spared sciatic nerve injury	PLoS One	12(5), e0177595 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
The Distribution of Phosphatidylcholine Species in Superficial-Type Pharyngeal Carcinoma	Biomed Res Int	2017, 5387913 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Different desmin peptides are distinctly deposited in cytoplasmic aggregations and cytoplasm of desmin-related cardiomyopathy patients	Biochim Biophys Acta	1865(7), 828-836 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他

Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia	Sci Rep	7, 45050 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Minos-insertion mutant of the Drosophila GBA gene homologue showed abnormal phenotypes of climbing ability, sleep and life span with accumulation of hydroxy-glucocerebroside	Gene	614, 49-55 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Distribution Analysis via Mass Spectrometry Imaging of Ephedrine in the Lungs of Rats Orally Administered the Japanese Kampo Medicine Maoto	Sci Rep	7, 44098 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Downregulation of GNA13-ERK network in prefrontal cortex of schizophrenia brain identified by combined focused and targeted quantitative proteomics	J Proteomics	158, 31-42 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Noninvasive quantitation of rat cerebral blood flow using 99mTc-HMPAO-assessment of input function with dynamic chest planar imaging	EJNmmi Res	8(1), 21 (2018)	浜松医科大学	教授	間賀田泰寛 他
In vivo Depiction of $\alpha 7$ Nicotinic Receptor Loss for Cognitive Decline in Alzheimer's Disease	J Alzheimers Dis	61(4), 1355-1365 (2018)	浜松医科大学	教授	間賀田泰寛 他
Quantitation of rat cerebral blood flow using 99mTc-HMPAO	Nucl Med Biol	47, 19-22 (2017)	浜松医科大学	教授	間賀田泰寛 他
Effects of Signal Saturation on QUS Parameter Estimates Based on High-Frequency-Ultrasound Signals Acquired From Isolated Cancerous Lymph Nodes	IEEE Trans Ultrason Ferroelectr Freq Control	64(10), 1501-1513 (2017)	浜松医科大学	助教 他	田村和輝 他

Reliability of a two-wavelength autofluorescence technique by Heidelberg Spectralis to measure macular pigment optical density in Asian subjects	Exp Eye Res	168, 100-106 (2018)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Evidence of Carotenoid in Surgically Removed Lamellar Hole-Associated Epiretinal Proliferation	Invest Ophthalmol Vis Sci	58(12), 5157-5163 (2017)	浜松医科大学	教授	瀬藤光利 他
Development of hepatoma-derived, bidirectional oval-like cells as a model to study host interactions with hepatitis C virus during differentiation	Oncotarget	8(33), 53899-53915 (2017)	浜松医科大学	特任教授	岡崎茂俊 他
Improved vessel painting with carbocyanine dye-liposome solution for visualisation of vasculature	Sci Rep	7(1), 10089 (2017)	浜松医科大学	特任教授	岡崎茂俊 他
Correction of spherical aberration in multi-focal multiphoton microscopy with spatial light modulator	Opt Express	25(6), 7055-7068 (2017)	浜松医科大学	特任教授	岡崎茂俊 他
Neuroinflammation following disease modifying therapy in multiple sclerosis: A pilot positron emission tomography study	J Neurol Sci	385, 30-33 (2018)	浜松医科大学	助教 (兼)	宮嶋ちはる 他
Reversible amygdala enlargement: a longitudinal observation of a patient with elderly onset temporal lobe epilepsy	J Neurol	264(12), 2487-2490 (2017)	浜松医科大学	教授	尾内康臣 他
Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study	Psychiatry Res	267, 45-50 (2017)	浜松医科大学	教授	尾内康臣 他
Imaging neuroinflammation to monitor α -synucleinopathy	Lancet Neurol	16(10), 763-764 (2017)	浜松医科大学	教授	尾内康臣
The Lateral Occipito-temporal Cortex Is Involved in the Mental Manipulation of Body Part Imagery	Front Hum Neurosci	11, 181 (2017)	浜松医科大学	教授	尾内康臣 他

In vivo TSPO and cannabinoid receptor type 2 availability early in post-stroke neuroinflammation in rats: a positron emission tomography study	J Neuroinflammation	14(1), 69 (2017)	浜松医科大学	教授	尾内康臣 他
A pilot study of serotonergic modulation after long-term administration of oxytocin in autism spectrum disorder	Autism Res	10(5), 821-828 (2017)	浜松医科大学	教授	尾内康臣 他
i-GONAD: a robust method for in situ germline genome engineering using CRISPR nucleases	Genome Biol	19(1), 25 (2018)	浜松医科大学	指定講師	高林秀次 他
The response of common marmoset immunity against cedar pollen extract	Biosci Trends	12(1), 94-101 (2018)	浜松医科大学	指定講師	高林秀次 他
Critical role of CREBH-mediated induction of transforming growth factor β 2 by hepatitis C virus infection in fibrogenic responses in hepatic stellate cells	Hepatology	66(5), 1430-1443 (2017)	浜松医科大学	指定講師	高林秀次 他
Inhibiting Skp2 E3 Ligase Suppresses Bleomycin-Induced Pulmonary Fibrosis	Int J Mol Sci	19(2), E474 (2018)	浜松医科大学	准教授	内田千晴 他
Phosphorylated HBO1 at UV irradiated sites is essential for nucleotide excision repair	Nat Commun	8, 16102 (2017)	浜松医科大学	准教授	内田千晴 他
Homeobox Transcription Factor NKX2-1 Promotes Cyclin D1 Transcription in Lung Adenocarcinomas	Mol Cancer Res	15(10), 1388-1397 (2017)	浜松医科大学	准教授	内田千晴 他
A 'NanoSuit' successfully protects petals of cherry blossoms in high vacuum: examination of living plants in an FE-SEM	Sci Rep	8(1), 1685 (2018)	浜松医科大学	特任教授	針山孝彦 他

Adults of <i>Lasioderma serricornis</i> and <i>Stegobium paniceum</i> (Anobiidae: Coleoptera) Are Attracted to Ultraviolet (UV) Over Blue Light LEDs	J Econ Entomol	110(4), 1911-1915 (2017)	浜松医科大学	特任教授	針山孝彦 他
A modified 'NanoSuit®' preserves wet samples in high vacuum: direct observations on cells and tissues in field-emission scanning electron microscopy	R Soc Open Sci	4(3), 160887 (2017)	浜松医科大学	特任教授	針山孝彦 他

特許等出願件数 8 件

発明等の名称 (仮称)	出願日	出願番号	出願人	発明者
作業療法用器具に関する実用新案	平成 29 年 5 月 31 日	実 願 2017-002457	浜松医科大学 企業 (浜松市)	美津島 隆 他
細胞観察システム及び観察方法に関する特許	平成 29 年 9 月 6 日	特 願 171039	浜松医科大学 企業 (浜松市)	菊池 寛利 他
医療機器に関する特許	平成 29 年 12 月 22 日	特 願 246549	浜松医科大学 企業 (県外)	針山 孝彦 他
干渉画像取得装置および方法に関する特許	平成 30 年 1 月 16 日	特 願 004681	浜松医科大学 企業 (浜松市)	平川 聡史 他
睡眠に関するノウハウ			浜松医科大学	巽 あさみ
医療機器に関する意匠	平成 30 年 1 月 24 日	意 願 001229	浜松医科大学 企業 (県外)	田中 悟志 他
医療機器に関する意匠	平成 30 年 1 月 24 日	意 願 001230	浜松医科大学 企業 (県外)	田中 悟志 他
医療機器に関する特許	平成 30 年 3 月 1 日	特 願 036759	浜松医科大学 企業 (浜松市)	金山 尚裕 他

6. 実用化実績

製品化実績 1 件

研究者名	商品名	販売開始年月日	販売元企業名	商品情報 (URL 等)	備考
鈴木電機工業株式会社	樹脂溶着用レーザー (Lavertex SV-120F)	平成 29 年 4 月 19 日	鈴木電機工業株式会社	http://www.suzuki-el.co.jp	医療関連器具製造への活用 (薬剤パック、円筒チューブ)

起業化実績 0 件

企業名	代表者名	設立年月日	企業情報（事業内容・URL等）

企業誘致・立地実績 0 件

企業名	立地等年月日	立地場所	従業員数（立地場所）	企業情報（事業内容・URL等）

7. 普及活動

成果発表会・講演会・セミナー等イベント（人材育成関連は除く）			
セミナー「共同研究・研究倫理セミナー」 場所：TKP 浜松アクトタワーカンファレンスルーム A 講師：浜松医科大学 理事（教育・産学連携担当）・副学 長 山本清二 浜松医科大学 副学長（研究担当） 光先端医学教育研究センター長・ フォトニクス医学研究部教授 蓑島 伸生	平成 29 年 6 月 16 日	16 社 計 29 名	対象者：企業、研究 者、コーディネータ
セミナー「浜松医科大学で共同利用できる MRI/CT のご紹介」 場所：浜松医科大学 臨床講義棟 小講義室 講師：浜松医科大学光先端医学教育研究センター 産学官連携推進部 特任研究員 夏目貴弘（技師）	平成 29 年 8 月 24 日	7 社 計 35 名	対象者：企業、研究 者、コーディネータ
医療・介護現場との情報交換会① （浜松医科大学の医師から製品開発ヒントを得る） 場所：プレスタワー7階 静岡新聞ミーティングルーム テーマと講師： 1.麻酔・蘇生学講座からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 麻酔・蘇生学講座 教授 中島 芳樹 2.小児科学講座からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部 小児科学講座 教授 緒方 勤 3.臨床腫瘍学講座からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部 臨床腫瘍学講座 教授 山田 康秀	平成 29 年 9 月 6 日	23 社 計 41 名	対象者：企業、研究 者、コーディネータ
医療・介護現場見学会① 浜松医科大学医学部 麻酔・蘇生学講座 教授 中島 芳樹	平成 29 年 10 月 4 日	8 社 計 12 名	対象者：企業、研究 者、コーディネータ
医療・介護現場見学会② 浜松医科大学医学部 小児科学講座 教授 緒方 勤	平成 29 年 10 月 4 日	8 社 計 12 名	対象者：企業、研究 者、コーディネータ

<p>医療・介護現場見学会③ 浜松医科大学医学部 臨床腫瘍学講座 教授 山田 康秀</p>	<p>平成 29 年 10 月 10 日</p>	<p>8 社 計 12 名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>健康医療関連市場参入セミナー 「医学を基礎としたまちづくり」 場所：ホテルクラウンパレス浜松 講師：奈良県立医科大学産学官連携推進センターMBT 研究所 教授 梅田 智広 ユニオンツール株式会社 三島研究所 センサ測定器開発本部 開発部 三島開発課 係長 坂田 勝亮</p>	<p>平成 29 年 11 月 17 日</p>	<p>30 社 計 50 名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>メディカルイノベーションフォーラム 2017 場所：プレスタワー 静岡新聞ホール 基調講演： 「サイバニクスによる医療イノベーション推進と社会実装」 講師：内閣府 ImPACT 革新的研究開発推進プログラム プログラム・マネージャー 筑波大学大学院 システム情報系・サイバニクス研究センター 教授・研究統括 CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO 山海 嘉之</p> <p>パネルディスカッション パネリスト： 光産業創成大学院大学 先端光産業経営分野 特任教授 宇佐美 健一 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 特任教授 コーディネータ 鈴木 俊充 豊橋技術科学大学 研究推進アドミニストレーションセンター 特定准教授 (URA) 土谷 徹 浜松医科大学 総合人間科学講座 (生物学) 教授 針山 孝彦 はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 事業総括 松浦 脩博</p> <p>モデレータ： 浜松医科大学 理事 (教育・産学連携担当)・ 副学長 山本 清二</p>	<p>平成 29 年 12 月 1 日</p>	<p>46 社 計 103 名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>第 6 回医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー 場所：パルシェ会議室 (JR 静岡駅ビル 7F) 講師：AI Medical Service Inc.CEO/ 医療法人ただともひろ胃腸科 肛門科 理事長 多田 智裕 静岡がんセンター 特別非常勤医師/ アヴェニューセルクリニック 院長 井上 啓太 浜松医科大学 理事 (教育・産学連携担当)・副学長 山本 清二</p>	<p>平成 30 年 2 月 3 日</p>	<p>約 100 名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>

<p>医療・介護現場との情報交換会②（浜松医科大学の医師から製品開発ヒントを得る） 場所：プレスタワー 静岡新聞ミーティングルーム テーマと講師：</p> <p>1.看護部からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部附属病院看護部 副看護部長 須永 訓子</p> <p>2.リハビリテーション部からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 助教 永房 鉄之</p> <p>3.血液浄化療法部からの現場及び業務の紹介 浜松医科大学医学部附属病院 血液浄化療法部 臨床工学技士 江間 信吾</p>	平成 30 年 2 月 23 日	32 社 計 53 名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
<p>医療機器の海外事情と展開および医工連携知財セミナー 場所：ホテルクラウンパレス浜松 講師：日本貿易振興機構（JETRO） 浜松貿易情報センター 係長 堀内 千浪 浜松市産業部産業振興課 市場創出グループグループ長 新村 仁 株式会社オノックスエムティーティー 代表取締役社長 青嶋 亮治 沢根スプリング株式会社 代表取締役 沢根 孝佳 株式会社ジーアクト 専務取締役 堀内 康博 名古屋国際特許業務法人 山越 淳</p>	平成 30 年 3 月 7 日	16 社 計 34 名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会④ 浜松医科大学医学部附属病院看護部 副看護部長 須永 訓子</p>	平成 30 年 3 月 22 日	6 社 計 6 名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会⑤ 浜松医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 助教 永房 鉄之</p>	平成 30 年 3 月 22 日	7 社 計 8 名	対象者：企業、研究者、コーディネータ
<p>医療・介護現場見学会⑥ 浜松医科大学医学部附属病院血液浄化療法部 臨床工学技士 江間 信吾</p>	平成 30 年 3 月 22 日	3 社 計 5 名	対象者：企業、研究者、コーディネータ

8. 人材育成

人材育成関連（講習会・研修会等）			
会議名称	開催日時	参加者	概要
「レーザー加工技術基礎セミナー」	平成 29 年 8 月 4 日	93 名	対象者：ものづくり企業等 概要：レーザーを用いた装置開発
「光を利用したものづくりに関するセミナー」	平成 29 年 11 月 9 日	110 名	ができる人材を育成するための座学

<p>「レーザーによるものづくり」</p> <p>「中核人材育成講座と実習」</p>	<p>講座： 平成29年 7月7日～12月2日</p> <p>実習： 平成29年 10月5,6,26,27, 11月12日</p>	<p>延べ 講座 33名</p> <p>実習 19名</p>	<p>対象者：ものづくり企業等</p> <p>概要：整備機器を活用した機器開発のできる人材を育成するレーザー講座と実習 (浜工技センター開催)</p>
<p>薬機法入門編セミナー「薬機法の概要」</p> <p>場所：アクトシティ浜松研修交流センター</p> <p>講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫</p>	<p>平成29年 9月15日</p>	<p>23社 計36名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>医療機器分野参入セミナー1「医療機器分野参入方法について」</p> <p>場所：アクトシティ浜松研修交流センター</p> <p>講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫</p>	<p>平成29年 10月20日</p>	<p>22社 計28名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>薬機法実践編セミナー1「品質マネジメントシステム構築について」</p> <p>場所：アクトシティ浜松研修交流センター</p> <p>講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫</p>	<p>平成29年 11月10日</p>	<p>23社 計40名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>医療機器分野参入セミナー2「リスクマネジメントについて」</p> <p>場所：アクトシティ浜松研修交流センター</p> <p>講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫</p>	<p>平成29年 2月15日</p>	<p>20社 計37名</p>	<p>対象者：企業、研究者、コーディネータ</p>
<p>薬機法実践編セミナー2「医療機器認証申請の申請書作成のポイントとノウハウの紹介」</p> <p>場所：アクトシティ浜松研修交流センター</p> <p>講師：OGYメディカルデバイスソリューションズ株式会社 代表取締役 荻生 久夫</p>	<p>平成30年 2月16日</p>	<p>15社 計24名</p>	<p>対象者：企業、コーディネータ</p>

9. 取材・報道状況

新聞・雑誌掲載 36件		
フotonバレーセンター、浜松に開設	平成29年4月4日	静岡新聞
産学連携で光の技術革新	平成29年5月8日	静岡新聞
浜医大、静大 共同で大学院設置	平成29年5月13日	静岡新聞
フotonバレーセンターについて	平成29年5月18日	静岡新聞
静大、浜医大 共同で「光医工学」の大学院設置	平成29年5月19日	中日新聞
浜松地域産学連携データベース（産学連携へデータ公開）	平成29年5月26日	静岡新聞
光技術で高度医療開発 浜松でシンポジウム、文科省の補助認定受け	平成29年6月21日	静岡新聞
「メディカルフォトニクスの新技術」事業について	平成29年7月12日	毎日新聞
循環型の産業構造構築（光技術の医療応用）	平成29年7月12日	静岡新聞
静大、浜医大 共同大学院「設置可」－文科省より	平成29年8月30日	静岡新聞
静大、浜医大 共同大学院博士課程「光医工学共同専攻」開設を発表	平成29年9月6日	朝日新聞
静大、浜医大 共同大学院博士課程「光医工学共同専攻」開設を発表	平成29年9月6日	静岡新聞
静大、浜医大 共同大学院博士課程「光医工学共同専攻」開設を発表	平成29年9月6日	読売新聞
静大、浜医大 共同大学院博士課程「光医工学共同専攻」開設を発表	平成29年9月6日	中日新聞
静大、中日新聞東海本社 連携講座「健康・医療の可能性を拓く」	平成29年9月7日	中日新聞
浜松地域イノベーション推進機構について	平成29年9月12日	静岡新聞
静大、浜医大 共同大学院博士課程「光医工学共同専攻」開設を発表	平成29年9月13日	毎日新聞
静大、浜医大 共同大学院「光医工学共同専攻」開設 光技術で高度医療推進	平成29年9月26日	静岡新聞
光の先端都市「浜松」が創成するメディカルフォトニクスの新技術の取組み	平成29年9月	地方議会人
なぜアメリカでヘルステックが開花したのか	平成29年10月	Forbes
静大、浜医大 共同大学院「光医工学共同専攻」開設 先端医療機器の開発を	平成29年11月4日	静岡新聞
メディカルイノベーションフォーラム2017について	平成29年12月2日	静岡新聞
政府2018年度予算案、浜松医大・静大 共同大学院にも予算	平成29年12月22日	中日新聞
政府2018年度予算案、大学院共同設置の静大、浜医大にも経費計上	平成29年12月23日	中日新聞
浜松医大学長 今野弘之 産学連携への挑戦	平成30年1月8日	岩手新聞
静大、中日新聞連携講座「医療の可能性を拓く」の最終回「手術が変わる！メディカルフォトニクスの新技術」で、山本清二浜松医大副学長が講義	平成30年1月14日	中日新聞

静大、中日新聞連携講座「医療の可能性を拓く」の最終回「手術が変わる！メディカルフォトリクスの新技術」で、山本清二浜松医大副学長が講義	平成30年1月18日	中日新聞
座談会 光技術が引き起こすイノベーションと次世代に向けた地域活性化	平成30年1月23日	日刊工業新聞
ものづくり相互にPR	平成30年1月24日	中日新聞
浜松市医療奨励賞 市役所で授与式	平成30年1月30日	中日新聞
光の先端都市「浜松」のイノベーション・エコシステムの構築に向けて	平成30年2月26日	文部科学教育通信
「光医療最前線」① 後遺症リスク大幅低減「レーザーで血栓除去」	平成30年3月5日	静岡新聞
「光医療最前線」③ 浜医大と静大などが開発「手術用次世代型立体内視鏡」	平成30年3月7日	静岡新聞
「光医療最前線」④ 地域連携「浜松光宣言」から5年	平成30年3月8日	静岡新聞
事業化貢献 研究者を評価	平成30年3月13日	日本経済新聞
フォトンバレーセンター 浜松版“アクトファスト”の計画	平成30年3月14日	静岡新聞
視察受入・来訪 52件		
面談	平成29年4月3日	企業 A社 共同研究について
面談	平成29年4月26日	フォトンバレーセンター 伊東氏
面談	平成29年5月8日	企業 Z社
面談	平成29年5月8日	企業 N社
面談	平成29年5月10日	東京医科歯科大学
面談	平成29年5月18日	東京大学
面談	平成29年5月24日	企業 S社
技術相談	平成29年5月24日	企業 H社
面談	平成29年5月25日	東北大学 中川氏
技術相談	平成29年5月30日	企業 P社
面談	平成29年5月30日	浜松市 原氏他
面談	平成29年5月30日	中部経済連合会
面談	平成29年6月8日	企業 R社
面談	平成29年6月9日	滋賀医科大学
技術相談	平成29年7月12日	企業 K社

技術相談	平成 29 年 7 月 14 日	企業 R 社
面談	平成 29 年 7 月 24 日	企業 N 社
面談	平成 29 年 8 月 25 日	企業 共同研究について
面談	平成 29 年 8 月 28 日	企業 N 社
技術相談	平成 29 年 9 月 4 日	企業 S 社
技術相談	平成 29 年 9 月 12 日	企業 M 社
面談	平成 29 年 9 月 14 日	中部経済産業局
面談	平成 29 年 9 月 20 日	企業 S 社
面談	平成 29 年 10 月 3 日	企業 T 社
面談	平成 29 年 10 月 3 日	企業 I 社
面談	平成 29 年 10 月 4 日	企業 3 社 セミナーの事前研修
技術相談	平成 29 年 10 月 17 日	企業 M 社
技術相談	平成 29 年 10 月 18 日	企業 N 社
面談	平成 29 年 11 月 2 日	イノベーション推進機構
面談	平成 29 年 11 月 9 日	イノベーション推進機構 大河原氏
面談	平成 29 年 11 月 10 日	JETRO 浜松
技術相談	平成 29 年 11 月 15 日	企業 A 社
面談	平成 29 年 11 月 16 日	企業 R 社
面談	平成 29 年 12 月 7 日	企業 N 社
面談	平成 29 年 12 月 12 日	AMED
面談	平成 29 年 12 月 20 日	企業 S 社
面談	平成 30 年 1 月 10 日	企業 S 社
面談	平成 30 年 1 月 11 日	企業 R 社
面談	平成 30 年 1 月 17 日	企業 N 社
技術相談	平成 30 年 1 月 18 日	企業 A 社

面談	平成30年1月29日	企業D社
面談	平成30年1月31日	企業R社
面談	平成30年3月1日	企業N社
面談	平成30年3月2日	企業N社
技術相談	平成30年3月6日	企業A社
技術相談	平成30年3月12日	企業
技術相談	平成30年3月12日	企業D社
技術相談	平成30年3月19日	企業N社
技術相談	平成30年3月22日	企業D社
面談	平成30年3月22日	企業2社 セミナーの事前研修
技術相談	平成30年3月23日	企業Z社
面談	平成30年3月28日	企業A社

10. 他拠点との連携等

- ・信州・浜松地域拠点間交流会議

平成29年7月27日～28日 ホテルクラウンプラザ浜松（静岡県）

11. その他（拠点運営費による出張業務）

○三浦拠点長出張業務

	日付	内容	出張先	出張目的
1	平成29年 4月21日	「MEDTECJapan2018」において出展支援	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
2	平成29年 6月22～24日	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会において出展支援	札幌コンベンション センター 札幌市白石区	広報活動
3	平成29年 8月30日	イノベーションジャパンにおいて出展支援	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
4	平成29年 9月29日	国際福祉機器展2017 視察・調査	東京ビッグサイト 東京都江東区	事業化活動
5	平成29年 10月24～26日	メディカルクリエーションふくしまにおいて出展支援、情報収集	ビッグパレットふく しま 福島県郡山市	広報活動

6	平成 29 年 10 月 26 日	おおた研究・開発フェアにおける出展支援	大田区産業プラザ 東京都大田区	広報活動
7	平成 29 年 11 月 30 日	国際ロボット展 視察・調査	東京ビッグサイト 東京都江東区	事業化活動
8	平成 29 年 12 月 7 日	メディカルメッセにおける出展支援、情報収集	名古屋市中企業振 興会館 愛知県名古屋市	広報活動
9	平成 30 年 2 月 3 日	医師主導による医療機器開発のためのニーズ創 出・事業化支援セミナーに参加	パルシェ会議室 静岡市葵区	事業化活動
10	平成 30 年 2 月 27 日	マイクロ流体デバイスセミナーに参加	静岡市産学交流セン ター 静岡県葵区	事業化活動
11	平成 30 年 3 月 13 日	産総研・NEDO 合同フォーラム	ホテルアソシエ 静岡県葵区	事業化活動

○松浦事業総括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	平成 29 年 4 月 19～21 日	「MEDTECJapan 2017」医工連携拠点が出展す るためブースにおいて説明、情報収集	東京ビッグサイト 東京都江東区有明	広報活動
2	平成 29 年 6 月 22 日	医療機器開発・製造展視察及びセミナー受講	東京ビッグサイト 東京都江東区	事業化活動
3	平成 29 年 6 月 30 日	千葉大フロンティア医工学センターにてシンポ ジウムに参加	千葉大学 千葉市中央区	事業化活動
4	平成 29 年 7 月 1 日	メディカルショージャパン視察	パシフィコ横浜 横浜市中区	事業化活動
5	平成 29 年 8 月 31 日	イノベーションジャパンにおける出展支援、 視察	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
6	平成 29 年 9 月 9 日	東北大学 REDEEM シンポジウムに参加	東京堂ホール 東京都千代田区	事業化活動
7	平成 29 年 9 月 28 日	国際福祉機器展 2017 視察・調査	東京ビッグサイト 東京都江東区有明	事業化活動
8	平成 29 年 10 月 27 日	NEXT 医療機器開発シンポジウムに参加	大手町フィナンシャルシ ティ 東京都千代田区	事業化活動
9	平成 29 年 11 月 15 日	スタートアップ支援事業フォローアップ	環プロダクツ 静岡市駿河区	事業化活動
10	平成 29 年 12 月 6 日	メディカルメッセにおける出展支援、 情報収集	吹上ホール 名古屋市千種区	広報活動
11	平成 29 年 12 月 20 日	スタートアップ支援事業フォローアップ	環プロダクツ 静岡市駿河区	事業化活動

12	平成30年 1月19日	福祉・介護機器試作開発製品発表会に出席	静岡県男女共同参画 センター 静岡市葵区	事業化活動
13	平成30年 1月20日	福祉・介護機器試作開発製品発表会に出席	静岡県男女共同参画 センター 静岡市駿河区	事業化活動
14	平成30年 1月26日	全国医療機器開発会議に出席	新霞が関ビル 東京都千代田区	事業化活動
15	平成30年 2月3日	医師主導による医療機器開発のためのニーズ創 出・事業化支援セミナーに参加	パルシェ会議室 静岡市葵区	事業化活動
16	平成30年 2月14日	県製薬協と県知事との意見交換会に出席	ホテルアソシア静岡 静岡市葵区	事業化活動
17	平成30年 2月22日	医療機器開発・製造展の視察及びセミナー受講	インテックス大阪 大阪市住之江区	事業化活動
18	平成30年 3月9日	医療機器の承認・認証申請等に関する説明会に 参加	メルパルク東京 東京都港区	事業化活動
19	平成30年 3月15日	静岡県科学技術振興表彰の授賞式に参列	静岡県庁 静岡市葵区	事業化活動

○山本研究統括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	平成29年 11月13日	静岡県産業振興財団との打ち合わせ	静岡県産業振興財団 静岡市葵区	事業化活動
2	平成29年 11月15日	スタートアップ支援事業フォローアップ	環プロダクツ 静岡市駿河区	事業化活動
3	平成30年 2月14日	県製薬協と県知事との意見交換会に出席	ホテルアソシア 静岡市葵区	事業化活動